

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

Hokkaido Research Center of Geology

2020 年度年報

(2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

目 次

I. 北海道総合地質学研究センターについて	1
II. 活動及び事業	2
III. 会員による研究活動	5
IV. 会計決算	9
V. 無償役務, 寄付金および賛助会費受入れなど	12
VI. 後援, 助成金受入れなど	12
VII. メールマガジン (HRCG Newsletter) 発行一覧	12



2021 年 (令和 3 年) 7 月 15 日発行

I. 北海道総合地質学研究センターについて

1. 目的

本法人は、地質学に関する研究・教育・実務などの高度な創造的活動を行なおうとする者のために必要な環境を用意し、その支援を行うとともに成果の普及活動を行い、それによって純粋地質学から自然防災を含む応用的地質学など幅広い範囲におよぶ「総合地質学」の研究の推進、およびそれに基づく社会的貢献、特に一般市民の地質学に関する基礎知識の増進に貢献することを目的とする。

2. 役員（2021年3月31日現在）

理事長：前田 仁一郎

副理事長：嵯峨山 積

専務理事：宮下 純夫

理事：石崎 俊一，岡 孝雄，岡村 聡，川村 信人，君波 和雄，嵯峨山 積，関根 達夫，高波 鐵夫，中川 充，前田 仁一郎，松田 義章，宮下 純夫，柳下 文夫，山岸 宏光

監事：在田 一則，加藤 孝幸

3. 会員（2021年3月31日現在）

29 名。内訳：正会員 20 名，一般会員 7 名，院生・学生会員 1 名，賛助会員 1 名

4. メールマガジン（HRCG Newsletter）購読者（2021年3月31日現在）

15 名（会員以外）

5. 所在地・電子メール・ホームページ

〒063-0002 北海道札幌市西区山の手 2 条 3 丁目 5 番 24 号

電話 080-5830-2016

〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 札幌エルプラザ 2 階

市民活動サポートセンター内 事務ブース No.3

office@hrcg.jp

<http://www.hrcg.jp/>

6. 定款・設立趣旨書などの文書

定款：http://hrcg.jp/documents/Teikan_20210210.pdf

設立趣旨書：<http://hrcg.jp/documents/Shushi.pdf>

プライバシーポリシー：http://hrcg.jp/documents/privacy_161116.pdf

会員の行動と知的所有権に関する基本的な考え方：http://hrcg.jp/documents/Chiteki_161116.pdf

II. 活動及び事業

2020（令和2）年

- 4月1日 インターネットドメイン更新（2021年5月31日まで）
- 4月1日 入会承認（一般会員1名、その後、正会員に変更）
- 4月9日 4月26日開催予定の2020年通常総会の延期を決定・通知
- 4月12日 監査を実施（監事2名と正副理事長が出席）
- 4月17日 札幌市法人市民税および北海道法人住民税申告
- 4月22日 札幌市および札幌市教育委員会に公開講座後援依頼
- 5月7日 一般会員あてに事業・活動の内容についての意見・要望を依頼
- 5月15日 札幌市より法人市民税免除通知
- 5月16日 2020年通常総会（5月31日）開催通知
- 5月22日 幹事会開催（オンライン開催）
- 5月22日 2020年度実施予定の公開講座の中止を決定
- 5月24日 全会員対象に会議等の開催に関するアンケート実施
- 5月24日 メールマガジン（HRCG Newsletter）、44号発行
- 5月31日 2020年通常総会開催（江別市野幌町58番地の7 宮下事務所）
- 6月1日 理事会を開催（6月1日～6月14日を期間とする電子メール表決）し、いくつかの内規と申し合わせの表現の改正を議決
- 6月12日 幹事会開催（札幌市北区北8条西3丁目 エルプラザ 札幌市市民活動サポートセンター 男女共同参画研究室3・4）
- 6月12日 札幌市に事業報告書提出
- 6月16日 北海道より法人道民税免除通知
- 8月1日 第1回会員交流会開催（札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ 中研修室 A・B）
- 8月20日 2018・2019年度年報発行
- 8月27日 さぼーとほっと基金年報原稿提出
- 8月29日 第2回会員交流会開催（札幌市中央区北2条西7丁目 北海道立道民活動センター かでの2.7 510会議室）
- 9月10日 幹事会開催（札幌市北区北8条西3丁目 エルプラザ 札幌市市民活動サポートセンター 男女共同参画研究室2）
- 10月2日 レンタルサーバー更新（2021年10月31日まで）
- 10月8日 幹事会開催（札幌市北区北8条西3丁目 エルプラザ 札幌市市民活動サポートセンター 男女共同参画研究室1）
- 10月25日 総合地質 4巻1号発行
- 10月25日 会員有志の企画・呼びかけによる厚真岩盤崩壊地現地見学会実施
- 10月31日 第15回研究セミナー開催（札幌市中央区北2条西7丁目 北海道立道民活動センター かでの

2.7 1050 会議室)

11 月 12 日 幹事会開催（札幌市北区北 8 条西 3 丁目 エルプラザ 札幌市市民活動サポートセンター 12 人用会議コーナー）

11 月 17 日 HRCG 通信第 1 号および第 1 号号外発行

11 月 28 日 臨時総会を開催（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 北海道立道民活動センター かでる 2.7 510 会議室）し、2021 年度からの一般会員の会費額の変更および総会・理事会へのオンライン出席を可能とする定款の変更を議決

12 月 22 日 事前の協議を経て札幌市長宛に定款の一部変更を申請

2021（令和 3）年

1 月 1 日 メールマガジン（HRCG Newsletter）、45 号発行

1 月 7 日 幹事会開催（オンライン開催）

1 月 31 日 第 3 回会員交流会開催（札幌市北区北 8 条西 3 丁目 エルプラザ 研修室 1）

2 月 9 日 入会承認（一般会員 1 名、2021 年 4 月 1 日付入会）

2 月 10 日 入会承認（一般会員 1 名、2021 年 4 月 1 日付入会）

2 月 10 日 札幌市長より定款変更認証決定の通知

2 月 11 日 幹事会開催（オンライン開催）

2 月 19 日 HRCG 通信第 2 号発行

2 月 22 日 札幌市市民活動サポートセンター事務ブース使用申請（期間；2021 年 4 月～2022 年 3 月）

3 月 7 日 第 4 回会員交流会開催（オンライン開催）

3 月 18 日 札幌市市民活動サポートセンター事務ブース使用申請許可

3 月 18 日 幹事会開催（オンライン開催）

3 月 19 日 2021 年通常総会開催通知

総合地質（4 巻、1 号、2020 年 10 月 25 日発行）

嵯峨山 積・関根達夫・星野フサ：古倶知安湖の検証：北海道倶知安町の後期更新世堆積物の微化石分析

嵯峨山 積・井島行夫・岡村 聡・阪田義隆：北海道札幌市北区の上部更新統～完新統ボーリング層序；札幌扇状地堆積物の基底年代と MIS 5a の海面高

山岸宏光：インド・デカン高原をたずねて－2020 年 3 月インド訪問報告－

山岸宏光・Dou Jie：韓国 Jeju 島のジオパークを訪ねて－2019 年第 12 回アジア地域応用地質学会(12th ARC of IAEG, 2019) に参加

宮坂省吾：樽前山 1874 年噴火を見た人たち

君波和雄：論文紹介

研究セミナー

第 15 回（2020 年 10 月 31 日）出席者：10 名

嵯峨山 積・井島行夫・岡村 聡・宿田浩司・藤原与志樹：石狩平野地下地質の新展開－中沼町ボーリング層序

と埋没地形区分ー

山岸宏光：韓国 Jeju 島のジオパークを訪ねてー2019 年第 12 回アジア地域応用地質学会に参加して

宮下純夫・足立佳子・金子 龍：海嶺下における熱水循環と塊状硫化鉱床の成因ーオマーンオフィオライトにおける緑泥石岩体の意義

山下康平・前田仁一郎：日高山脈、曲り沢かんらん岩の中の優白質脈：上部マントルと珪長質メルトの反応のアナログ

谷内 元：沈み込み帯火成活動とスラブ由来超臨界流体

会員交流会

第 1 回（2020 年 8 月 1 日）出席者：14 名

前田仁一郎：（理事長挨拶）交流会の趣旨, HRCG 設立時の夢と今後について

＜第 1 部 北海道胆振東部地震関連＞

高波鐵夫：北海道の内陸地震と南部千島海溝のメガスラスト地震との関係について

山岸宏光：胆振東部地震による斜面災害の GIS や LP による解析

岡 孝雄：2018 年胆振東部地震における岩盤崩壊（岩盤すべり・岩盤崩落）の分布と復元地震断層の関係について

＜第 2 部 発表・自己紹介＞

石崎俊一：海外プロジェクトに係わる地質技術者の役割（概要）

関根達夫：北海道の「航空レーザー測量オープンデータ」を用いて、厚真地区崩壊箇所 の 1 m 等高線図を作成

宮下純夫：新型コロナ肺炎の感染状況

第 2 回（2020 年 8 月 29 日）出席者：10 名

前田仁一郎：モホ面を考える

山岸宏光：インド デカントラップを訪ねて

柳下文夫：研究者・教育者として 42 年間に携わった研究テーマの紹介

高田忠彦：コロナ禍対策とメソポア珪藻土

宮下純夫：新型コロナ感染の世界的状況と最近の写真紹介

岡村 聡：寿都町の高レベル放射性廃棄物地層処分場選定に関する報道について

第 3 回（2021 年 1 月 31 日）出席者：14 名

石崎俊一：海外プロジェクトに係わる地質技術者の役割（概要）

山岸宏光・松田義章：ブラタモリ室蘭のその後

松田義章：都市景観(特に建造物)の形成における「石材」の活用とその地質学的背景～主に札幌軟石と小樽軟石を例として～

岩間唯史：小中学校での地学教育の現状

第 4 回（2021 年 3 月 7 日）出席者：11 名（オンライン開催）

各会員より書籍、講演会、映画会など、近況や関心がある事柄の紹介。

HRCG 通信

第 1 号 (2020 年 11 月 17 日発行)

嵯峨山 積, 古倶知安湖の検証: 後期更新世堆積物の微化石分析

関根達夫, HRCG 厚真岩盤滑り現地見学会, 20201205

高波鐵夫, 訪問記 6600 万年前の K/Pg 境界を訪ねて

第 1 号号外 (2020 年 11 月 17 日発行)

前田仁一郎, HRCG 通信の創刊に寄せて

関根達夫, Zoom (ズーム) を使って交流会・研究セミナーに参加してみませんか?

第 2 号 (2021 年 2 月 19 日発行)

中西 諒, 海水準上昇によってもたらされた日高南部の古津波災害

石崎俊一, 海外プロジェクトに係わる地質技術者の役割

岩間唯史, 小中学校での地学教育の現状

柳下文夫, ニュージーランドの奇岩

III. 会員による研究活動

1) 学術論文など (査読有)

Aizawa, M., Shinjo, R., Okamura, S., Takahashi, T. and Fujibayashi, N., 2021, Geochemical evidence for “cryptic amphibole fractionation” and lower crust melting for the generation of island arc tholeiitic rocks from northern Fossa Magna, central Japan. *Lithos*, 386-387, 106028.
<https://doi.org/10.1016/j.lithos.2021.106028>.

Dou, J., Ali, P. Y., Merghadi, A., Wang X. and Yamagishi, H., 2021, A comparative study of deep learning and conventional neural network for evaluating landslide susceptibility using landslide initiation zones. In Fausto Guzetti et al (eds), *Understanding and Reducing Landslide Disaster Risk, vol. 2 From Mapping to Hazard and Risk Zonation*, Springer Nature, 215-223.

Ikehara, K., Katayama, H., Sagayama, T. and Irino, T., 2020, Geological controls on dispersal and deposition of river flood sediments on the Hidaka shelf, Northern Japan. *Geological Society, Special Publications*, 505, <https://doi.org/10.1144/SP505-2019-114>.

宮坂省吾, 2020, 樽前山 1874 年噴火を見た人たち. 総合地質, 4, 35-42.

Nakanishi, R., Okamura, S., Yokoyama, Y., Miyairi, Y., Sagayama, T. and Ashi, J., 2020, Holocene tsunami, storm and relative sea level records obtained from the southern Hidaka coast, Hokkaido, Japan. *Quatern, Sci. Rev.* 250, 106678, 1-17. <https://doi.org/10.1016/j.quascirev.2020.106678>

Nakanishi, R., Ashi, J. and Okamura, S., 2020, A dataset for distribution and characteristics of Holocene pyroclastic fall deposits along the Pacific coasts in western Hokkaido, Japan. *Data in Brief*,

33, December 2020, 106565 <https://doi.org/10.1016/j.dib.2020.106565>

Nishiki, Y., Sato, T., Katoh, T., Otake, T. and Kikuchi, R., 2020, Precipitation of magnesium silicate hydrates in natural alkaline surface environments. *Clay Science*, 24, 1-13.

坂口 隆・岡村 聡, 2020, 北海道縄文時代後期における石製墓標の原産地研究. 考古学雑誌, 103, 1-35.

嵯峨山 積・井島行夫・岡村 聡・阪田義隆, 2020, 北海道札幌市北区の上部更新統～完新統ボーリング層序; 札幌扇状地堆積物の基底年代と MIS 5a の海面高. 総合地質, 4, 9-17.

嵯峨山 積・井島行夫・岡村 聡・宿田浩司, 2021, 北海道札幌市中沼町のボーリングコアの層序と石狩平野の埋没地形の検討. 地球科学, 75, 3-17.

嵯峨山 積・関根達夫・星野フサ: 古倶知安湖の検証: 北海道倶知安町の後期更新世堆積物の微化石分析. 総合地質, 4, 1-7.

Yamagishi, H., Iwahashi, J. and Yamazaki, F., 2021, Landslides triggered by the September 6th 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake - Topographic and Geologic GIS - LP Analyses - . *E-Proceedings of the Fifth World Landslide Forum*, 317-326.

山岸宏光・岩橋純子, 2020, 地震による斜面災害のGISを用いた地形・地質解析. 「地震による地すべり災害」刊行委員会編, 地震による地すべり災害-2018年北海道胆振東部地震, 北海道大学出版会, 104-112.

山岸宏光, 2020, インド・デカン高原をたずねて-2020年3月インド訪問報告-. 総合地質, 4, 19-26.

山岸宏光・Dou Jie, 2020, 韓国Jeju島のジオパークを訪ねて-2019年第12回アジア地域応用地質学会 (12th_ARC of IAEG, 2019) に参加して. 総合地質, 4, 27-34.

2) 学術論文など (査読無)

加藤孝幸, 2020, トッタベツ川における半洞穴等調査報告. 縄文の里通信, 第 10 号, 2-3.

川村信人, 2020, 夕張市 石炭層の大露頭 (北海道). 「地質と調査」, 各地の残すべき地形・地質, 全国地質調査業協会連合会, 2020 年第 2 (通巻 156) 号, 63-64.

新妻重明・濱木道大・加藤孝幸・飯田友章・水垣 滋・井上卓也・大塚淳一・河合 崇, 2020, FP 法蛍光 X 線分析による河口砂州の土砂供給源推定. 日本応用地質学会令和 2 年度研究発表会講演論文集, 21-22.

横山俊治・藤田勝代・加藤孝幸・斉藤晃生, 2020, 大谷石の塩類風化の特徴とタフォニ・ノッチ・壁面崩壊の形成機構. 日本応用地質学会, 令和 2 年度研究発表会講演論文集, 171-172.

吉田充夫・Muferreh, S.A.・加藤孝幸, 2020, パレスチナにおける石材廃棄物及び建設・解体廃棄物の再資源化の可能性. 環境技術学会 2020 年研究発表会, セッション 2, No. 204.

3) 学術書籍, 一般書籍・雑誌など

「地震による地すべり災害」刊行委員会編 (委員長: 山岸宏光), 2020, 地震による地すべり災害-2018年北海道胆振東部地震, 北海道大学出版会, 353p.

4) 学術講演・学会発表（口頭・ポスター）など

宮下純夫・足立佳子・金子 龍, 2020, 海嶺下における熱水循環と塊状硫化鉱床の成因—オマーンオフィオリイトにおける緑泥石岩体の意義. HRCG 第 15 回研究セミナー, 10 月 31 日.

嵯峨山 積・井島行夫・岡村 聡・阪田義隆, 2020, JR 札幌駅北口のボーリング地質; 札幌扇状地堆積物の基底年代と MIS 5a の海面高. 日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会令和 2 年度研究発表会講演予稿集, 5-8, 12 月 4 日.

嵯峨山 積・井島行夫・岡村 聡・宿田浩司・藤原与志樹, 2020, 石狩平野地下地質の新展開—中沼町ボーリング層序と埋没地形区分—. HRCG 第 15 回研究セミナー, 10 月 31 日.

嵯峨山 積・近藤玲介・宮入陽介・横山祐典, 2020, 三重伊勢市の沖積層ボーリング (KU-ISH-1) の珪藻分析. 日本第四紀学会 2020 年大会 (オンライン), 講演要旨集, 20, 12 月 26-27 日.

高波鐵夫, 2020, 北海道日高地方の内陸地震と南千島海溝沿いのプレート間大地震との関連性. JpGU-AGU Joint Meeting 2020, Virtual Meeting, 12-16 July.

山岸宏光, 2020, 韓国 Jeju 島のジオパークを訪ねて—2019 年第 12 回アジア地域応用地質学会に参加して. HRCG 第 15 回研究セミナー, 10 月 31 日.

山岸宏光・岩橋純子・山崎文明, 2020, 2018 年 9 月 6 日北海道胆振東部地震による斜面災害・地形・地質判読と GIS&LP 解析でどこまでわかったか. 土砂災害研究会 web 講演会, 防災科学技術研究所, 12 月 4 日.

山下康平・前田仁一郎, 2020, 日高山脈, 曲り沢かんらん岩の中の優白質脈: 上部マントルと珪長質メルトの反応のアナログ. HRCG 第 15 回研究セミナー, 10 月 31 日.

5) 一般講演

石崎俊一, 2020, 海外プロジェクトに係わる地質技術者の役割 (概要). HRCG 第 1 回会員交流会, 8 月 1 日.

石崎俊一, 2021, 海外プロジェクトに係わる地質技術者の役割 (概要). HRCG 第 3 回会員交流会, 1 月 31 日.

岩間唯史, 2021, 小中学校での地学教育の現状. HRCG 第 3 回会員交流会, 1 月 31 日.

加藤孝幸・三浦孝一・政田翔太, 2020, 「噴火湾の渚を歩く」見学案内書, 第 4 回ジオフェスバル in Hakodate.

加藤孝幸, 2020, 然別峡こども自然調査隊, 石ころ調査. 鹿追ジオパーク.

川村信人, 2021, デジタル地形データから読み取る地質構造と地球テクトニクス. 第 59 回試錐研究会, 札幌サンプラザ, 3 月 4 日.

前田仁一郎, 2020, 理事長挨拶; 交流会の趣旨, HRCG 設立時の夢と今後について. HRCG 第 1 回会員交流会, 8 月 1 日.

前田仁一郎, 2020, モホ面を考える. HRCG 第 2 回会員交流会, 8 月 29 日.

松田義章, 2021, 都市景観(特に建造物)の形成における「石材」の活用とその地質学的背景—主に札幌軟石と小樽軟石を例として—. HRCG 第 3 回会員交流会, 1 月 31 日.

宮下純夫, 2020, 新型コロナ肺炎の感染状況. HRCG 第 1 回会員交流会, 8 月 1 日.

宮下純夫, 2020, 新型コロナ感染の世界的状況と最近の写真紹介. HRCG 第 2 回会員交流会, 8 月 29 日.

岡 孝雄, 2020, 2018 年胆振東部地震における岩盤崩壊（岩盤すべり・岩盤崩落）の分布と復元地震断層の関係について. HRCG 第 1 回会員交流会, 8 月 1 日.

岡村 聡, 2020, 寿都町の高レベル放射性廃棄物地層処分場選定に関する報道について. HRCG 第 2 回会員交流会, 8 月 29 日.

関根達夫, 2020, 北海道の「航空レーザー測量オープンデータ」を用いて, 厚真地区崩壊箇所の 1 m 等高線図を作成. HRCG 第 1 回会員交流会, 8 月 1 日.

高田忠彦, 2020, コロナ禍対策とメソポア珪藻土. HRCG 第 2 回会員交流会, 8 月 29 日.

高波鐵夫, 2020, 北海道の内陸地震と南部千島海溝のメガスラスト地震との関係について HRCG 第 1 回会員交流会, 8 月 1 日.

高波鐵夫, 2020, 地震学概論. 信州大学コア・サイエンス・ティーチャー養成プロジェクト (遠隔授業), 8 月 17-21 日.

柳下文夫, 2020, 研究者・教育者として 42 年間に携わった研究テーマの紹介. HRCG 第 2 回会員交流会, 8 月 29 日.

山岸宏光, 2020, インド デカン高原を訪ねてー2020年3月インド訪問報告. (株) シン技術コンサルタント 2020年技術研修発表会概要集, 11-18 (札幌市北海道建設会館), 7 月 18 日.

山岸宏光, 2020, 胆振東部地震による斜面災害の GIS や LP による解析. HRCG 第 1 回会員交流会, 8 月 1 日.

山岸宏光, 2020, インド デカントラップを訪ねて. HRCG 第 2 回会員交流会, 8 月 29 日.

山岸宏光, 2020, ブラタモリ室蘭その後. (株) シン技術コンサルタント社内講演会, 社内会議室, 11 月 10 日.

山岸宏光・松田義章, 2021, ブラタモリ室蘭のその後. HRCG 第 3 回会員交流会, 1 月 31 日.

6) 巡検・見学会リーダーなど

加藤孝幸, 2020, 石ころ鑑定会. 鹿追ジオパーク, 8 月 6 日.

加藤孝幸・三浦孝一・政田翔太, 2020, 「噴火湾の渚を歩く」見学案内. 第 4 回ジオフェスティバル in Hakodate オンライン. 8 月 22-30 日.

岡 孝雄・関根達夫, 2020, 厚真岩盤崩壊地現地見学会. 北海道総合地質学研究センター, 10 月 25 日.

岡村 聡・内山幸二・矢部和夫・宮坂省吾・在田一則, 2020, 街中ジオ散歩ー三角山でマグマとマンツルの贈り物を探す. 北海道自然保護協会, 10 月 3 日.

Ⅳ. 会計決算

2021 年 3 月末 (2020 年度)

収入				
1. 経常収益	科目	予算	決算	差額
1. 受取会費	正会員受取会費	120,000	126,000	△ 6,000
	一般会員受取会費	40,000	30,000	10,000
	賛助会員受取会費	10,000	10,000	0
	院生・学生会員受取会費	0	0	0
	受取会費合計	170,000	166,000	4,000
2. 受取寄付金	受取寄付金	30,000	18,000	12,000
	無償役務受入評価益	0	1,991,493	△ 1,991,493
	無償施設・機器等受入評価益	0	0	0
	受取寄付金合計	30,000	2,009,493	△ 1,979,493
3. 受取助成金等	受取助成金	168,000	168,000	0
	受取補助金	0	0	0
	受取助成金等合計	168,000	168,000	0
4. 事業収益	総合地質出版事業	15,000	24,000	△ 9,000
	研究セミナー開催事業	0	0	0
	公開講座実施事業	0	0	0
	アウトリーチ事業	0	0	0
	事業収益合計	15,000	24,000	△ 9,000
5. その他収益	受取利息	2	3	△ 1
	雑収益	998	12,880	△ 11,882
	その他収益合計	1,000	12,883	△ 11,883
経常収益合計		384,000	2,380,376	△ 1,996,376

支出					
Ⅲ. 経常費用					
科目	予算	決算	差額	備考	
1. 事業費					
(1) 人件費					
給与	0	0	0	0 計上せず = 職員を雇用せず	
謝金	0	0	0		
役員報酬費	0	0	0		
無償役員評価費用	0	212,667	△ 212,667		
人件費合計	0	212,667	△ 212,667		
(2) その他経費					
講義準備・資料作製準備必要経費	0	0	0		
会場費	0	4,900	△ 4,900	会員交流会 (第1回：3000円, 第3回：1900円)	
旅費・交通費	0	0	0		
広報・宣伝費	0	0	0		
通信費	1,000	6,470	△ 5,470	総合地質納本郵送：500円, HRCG通信郵送：4,794円, 会員交流会等案内：1,176円	
印刷・製本費	33,000	33,000	0	総合地質vol. 4 (20冊)	
事務用品費	0	623	△ 623	HRCG通信印刷用紙・インク代	
消耗品費	0	0	0		
支払手数料	200	220	△ 20	三誠社口座振込	
事業雑経費	0	400	△ 400	第1回, 第3回会員交流会スクリーン代	
事業予備費	5,000	0	5,000		
無償施設・機器等受入評価費用	0	0	0		
その他経費合計	39,200	45,613	△ 6,413		
事業費合計	39,200	258,280	△ 219,080		
2. 管理費					
(1) 人件費					
役員報酬	0	0	0	0 計上せず	
給与	0	0	0	0 計上せず = 職員を雇用せず	
謝金	5,000	0	5,000	事務作業補助, 会計作業補助, ホーム直更新作業補助など	
役員報酬費	0	0	0		
無償役員評価費用	0	1,778,826	△ 1,778,826	内訳別紙	
人件費合計	5,000	1,778,826	△ 1,773,826		
(2) その他経費					
事務所費	120,000	120,000	0	エルプラザブース使用料 (2020年5月～2021年4月分：10,000円/月, 前月払い)	
会議・会場費	5,000	2,600	2,400	2020年総会・第5回会員交流会	

旅費・交通費	30,000	18,250	11,750	幹事会交通費（片道分7名、2019年度：9,240円、2020年度：9,010）
広報・宣伝費	5,000	0	5,000	
通信費	50,000	38,848	11,152	インターネット通信：17,402円（サーバーレンタル：13,200円、ドメイン更新：4,202円）、携帯電話：20,170円、郵送：1,276円
印刷・製本費	5,000	0	5,000	プリンタ用インク代
事務用品費	5,000	0	5,000	封筒、領収書、クリアファイル、名刺用紙など
消耗品費	5,000	0	5,000	第四電池代
支払手数料	500	0	500	
管理雑経費	1,000	0	1,000	
管理予備費	1,000	0	1,000	
管理事務作業環境提供	3,600	3,600	0	前田（200円×12ヶ月）、嵯峨山（100円×12ヶ月）
無償施設・機器等受入評価費用	0	0	0	
その他経費合計	231,100	183,298	47,802	
管理費合計	236,100	1,962,124	△ 1,726,024	
経常費用合計	275,300	2,220,404	△ 1,945,104	事業費合計・管理費合計

科目	予算	決算	差額	備考
当期経常増減額	108,700	159,972	△ 51,272	経常収益合計・経常費用合計

III. 経常外収益				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	

IV. 経常外費用				
科目	予算	決算	差額	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	

	予算	決算	差額	備考
当期経常外増減額	0	0	0	

科目	予算	決算	差額	備考
期引前当期正味財産増減額	108,700	159,972	△ 51,272	
法人税	0	0	0	免除予定
法人道民税均等割	0	0	0	20,000円、免除予定
法人市民税均等割	0	0	0	50,000円、免除予定
前期繰越正味財産額	249,988	249,988	0	
次期繰越正味財産額	358,688	409,960	△ 51,272	前期繰越正味財産額 249,988円＋当期財産正味増減額 159,972円＝409,960円

V. 無償役務，寄付金および賛助会費受入れなど

2020年度 寄付・無償役務等提供者一覧

寄付金		管理区分無償役務			事業区分無償役務			
氏名	金額 (円)	氏 名	金額 (円)	備考(算定時間)	氏 名	金額 (円)	備考(算定時間)	事業内容
嵯峨山 積	6,000	在田 一則	8,610	10	前田 仁一郎	2,583	3	会員交流会企画
柳下 文夫	2,000	加藤 孝幸	8,610	10	宮下 純夫	172,200	200	総合地質編集等
高波 鐵夫	10,000	前田 仁一郎	874,776	1,016	岡村 聡	3,444	4	HRCG通信編集
計	18,000	宮下 純夫	184,254	214	嵯峨山 積	5,166	6	会員交流会企画
		岡村 聡	63,714	74	高波 鐵夫	3,444	4	HRCG通信編集
		嵯峨山 積	444,276	516	柳下 文夫	17,220	20	HRCG通信編集
		関根 達夫	65,436	76	君波 和雄	4,305	5	総合地質編集
		高波 鐵夫	65,436	76	岡 孝雄	4,305	5	総合地質編集
		柳下 文夫	63,714	74	計	212,667	247	
		計	1,778,826	2,066				

受取寄付金・無償役務内訳		金額 (円)
受取寄付金		18,000
無償役務受入評価益		1,991,493
計		2,009,493

以上の皆さまの貢献に感謝申し上げます。

VI. 後援，助成金受入れなど

1) 後援など

なし

2) 助成金などの受入れ

なし

VII. メールマガジン (HRCG Newsletter) 発行一覧 (補遺)

発行日	号数	発行日	号数	発行日	号数
2017年 12月22日	1	2018年 9月7日	16	2019年 5月15日	31
2018年 1月8日	2	9月10日	17	5月15日	32
2月18日	3	9月13日	18	5月18日	33
2月18日	4	9月13日	19	5月29日	34
3月8日	5	9月14日	20	6月14日	35
3月29日	6	9月18日	21	6月16日	36
4月23日	7	9月19日	22	6月20日	37
7月1日	8	10月4日	23	9月15日	38
7月22日	9	10月7日	24	9月16日	39
7月22日	10	10月26日	25	11月21日	40
8月6日	11	11月1日	26	2020年 2月11日	41
8月16日	12	12月19日	27	2月11日	42
8月27日	13	2019年 1月28日	28	2月28日	43
8月27日	14	2月20日	29	5月24日	44
8月28日	15	3月20日	30	2021年 1月1日	45

北海道総合地質学研究センター年報編集担当 嵯峨山 積